

熊本地震災害派遣薬剤師・九州ブロック現地活動報告 No.12

平成 28 年 5 月 3 日

- 【派遣日程】 4 月 25 日（月）～4 月 26 日（火）
- 【報告者】 佐賀県 辻 智幸
- 【メンバー】 曲渕 祐太、山崎 昭人、辻 智幸
- 【派遣先】 益城町保健福祉センター
- 【交通状況】 高速道路は菊水から北熊本が通行止め。
佐賀市内から湾岸道路を通り、大牟田経由で熊本入り。
市内は渋滞しがちだが、流れている。
- 【ライフライン】 益城町は上下水道がまだ復旧していない。電気は復旧している。
- 【活動内容】 ○26日
- 8時 益城町保健福祉センター集合
 - 8時30分 ミーティング
 - 9時 業務開始
 - 10時 保健師同行のために広安西小学校へ移動
 - 10時～16時 保健師同行にて、被災者に問診
 - 16時 益城町保健福祉センターへ帰着
 - 18時 報告ミーティング
 - 19時 熊本県薬剤師会館へ撤収
 - 20時 熊本県薬剤師会館を出発。佐賀県薬剤師会館へ向かう。
- 保健師同行する際は
1. 衛生環境確認 トイレ、掃除、換気
 2. 生活環境確認 更衣室、授乳室の整備状況
 3. 個人の状態確認 食事、排泄、睡眠、運動、入浴、着替え
 4. 持参薬確認 正しく飲めているか、いつまで手持ちがあるか、自力受診できるか、かかりつけ医療機関が開業しているかの確認業務となる。

【派遣日程】 4 月 28 日（木）～4 月 29 日（金）

【報告者】 福岡県 渡邊 啓

- 【メンバー】 波多江 俊子, 伊藤 太綱, 兵連 信次, 鬼塚 龍, 渡邊 啓
- 【派遣先】 益城総合運動公園
- 【交通状況】 8:00 福岡市薬剤師会出発
10:30 熊本県薬剤師会到着 被災地での業務内容説明
11:15 熊本県薬剤師会より、益城総合運動公園へ出発
12:20 東バイパス渋滞により、予定の12:00より20分遅れて現地到着
- 【活動内容】 ○28日
全体ミーティング終了後、調剤業務の引き継ぎを受け、日赤医療チームとともに調剤業務へ入る。
神戸日赤、鳥取日赤、沖縄日赤、国立病院機構の医療チームと連携し、調剤を行う。
処方内容は、打ち身などに対する貼付剤、風邪症状に対する総合感冒薬、降圧剤等を含む一包化など、多岐に亘る。
日中の患者数は、まばらで、2, 3人の調剤で患者を待たせることなく、投薬できる状態だったが、夕方、仕事先から避難所へ帰ってくる方々が増えるにつれ、患者数も増加。
山口県薬剤師会の協力を得て、5名で調剤業務を行う。
19:00頃より患者数が減ってきたため、順次休憩に入る。
22:00診療終了予定であったが、22:30まで診療は続いた。
22:30調剤業務終了（処方箋枚数75枚）
- 29日
多様な業務を分担し、OTC業務や健康相談のための巡回を行った。
医薬品を必要とする被災者に対して、できる限り日赤テントでの受診を勧めたが、受診を拒否する患者には、OTC薬で対応した。
12:40交代チーム到着 引き継ぎを行い、帰福。
16:20福岡市薬剤師会到着 チーム解散

-
- 【派遣日程】 4月29日（金）～4月30日（土）
- 【報告者】 福岡県 大村 望
- 【メンバー】 吉田 理, 瀧川 梓, 靱井 梨那, 大村 望
- 【派遣先】 益城町総合体育館
- 【交通状況】 車（レンタカー）
往路：8:00 福岡市薬剤師会館→太宰府 IC～植木 IC→11:00 熊本県薬剤師会館→12:10 益城町総合体育館

※GWの影響か熊本市内の一般道に多少の渋滞あり。

29日9時より植木IC以降の高速道路通行禁止解除。

復路：12:20 益城町総合体育館→益城熊本空港IC～太宰府IC→14:40

福岡市薬剤師会館

【活動内容】

1. 救護所での調剤業務

処方人数は一日で約80人。地域の診療所・病院の開院数が増えているため、徐々に減少している。風邪や怪我の患者がメインのため、処方される医薬品の種類も限定されてきていると実感。

2. 衛生管理

他職種の方々と協力して仮設トイレの消毒など。今後は気温の上昇に伴う食中毒及び雨天後の靴裏に付着した泥などによる室内の汚染に注意が必要と思われる。

3. OTCの相談窓口

4. 環境測定

【派遣日程】 4月29日（金）～4月30日（土）

【報告者】 佐賀県 島内 知子

【メンバー】 北島 孝臣, 近藤 仁, 島内 知子

【派遣先】 益城福祉健康センター

【交通状況】 行き：有明沿岸道路→大牟田市208号線→長洲町501号線

所要時間：2時間20分

帰り：益城熊本空港→八女IC 所要時間：1時間45分

【ライフライン】 水道 ガス ×

【活動内容】 グランメッセ熊本、ルミナース熊本ホテル、総合体育館、えびなにて2チームに別れて2名の栄養士と連携、帯同(今回初めての試み)にて健康状態、内服状態をインタビューして、食事全体の指導を行い、マルチビタミンやvitaminCの配布に巡回した。適度な運動の促し、水分摂取の呼び掛けとOS-1やポカリの配布を行った。グランメッセは昼間は仕事や家の片付け等に行っていて車中の方は少ない。テントでの生活の方もあり。夜間は車中泊の方が増える見込み。ルミナース熊本には全体1,300人で館内被災者200人弱で館内は殆ど高齢者。食事やマッサージ等は充実していて現状満足の方が多印象だった。

14時から歯科医師による巡回も行われていた。

モバイルファーマシー窓口対応 処方箋発行：60枚、OTC相談40件

処方箋は殆ど風邪の症状でインフルエンザはなし。
OTC 相談は頭痛や痒みを伴う皮膚疾患が多かった。

- 【派遣日程】 4月29日（金）～4月30日（土）
- 【報告者】 福岡県 畠中 賢一
- 【メンバー】 濱 良一，平岡 嘉徳，畠中 賢一
- 【派遣先】 益城町総合体育館
- 【交通状況】 飯塚から熊本県薬まで特に問題なし。
熊本県薬からは迂回しながら総合体育館へ。
指示のあった経路には問題なし。
- 【ライフライン】 電気復旧。上水道は復旧。下水道は未定。
- 【活動内容】 7:05 飯塚薬剤師会館出発。
- 8:10 広川 SA で交通情報収集。インフォメーションにて。
- 8:30 植木 IC 到着。本日より開通とのことで3km渋滞あり。
災害支援の車両優先などはなし。
- 9:00 通行止め解除にて通過。
- 9:30 益城 IC で降り一般道へ。
- 10:20 熊本県薬到着。
県薬スタッフより引き継ぎ・注意事項の説明および食事。
- 12:10 益城町総合体育館到着。
熊本薬剤師会の方から説明。引き継ぎ、避難所の案内あり。
- 13:30 活動開始。主に救護室にて活動。受付された患者の診察前の問診から投薬まで付き添い薬剤師業務を遂行。処方日数は3日程度。急性期の処方ほとんどなく、疼痛や気管支炎などの処方が多く見られる。また慢性期疾患（手持ち薬剤切れ）の一包化なども見られる。
- 16:00 被災者の部屋を回り声掛けを行う。
- 18:00 休憩・食事。
- 22:00 診察終了。全体ミーティング。
- 22:30 休憩。
- 8:00 活動再開。午前中は救護室は風邪や慢性疾患の患者さんがメインとなった。
- 9:00 被災者の部屋を回り声かけ実施。夜間の寒さの訴え、また夜間のトイレの訴えが多く聞かれた。夜間トイレに行きたくないた

め、水分を控えるような方もいるため指導。

- 10:30 駐車場で生活されている方へ、OS-1を持って、熱中症、エコノミークラス症候群に対する指導を実施。エコノミークラス症候群に関しては多くの方が運動などを心がけている。
- 12:30 後続チームに引き継ぎ。
- 12:50 活動終了。
- 13:10 食事。
- 15:30 飯塚薬剤師会館到着。
- 15:40 解散。

【派遣日程】 4月30日（土）～5月1日（日）

【報告者】 福岡県 安田 裕司

【メンバー】 島田 良知，藤浦 大介，馬渡 直美，安田 裕司

【派遣先】 益城町総合体育館

【交通状況】 4/30 飯塚薬剤師会⇒八木山バイパス⇒福岡IC⇒益城熊本空港IC
⇒熊本県薬剤師会（約3時間30分）

※熊本ICから益城熊本空港ICまで約5kmの渋滞30分程度
渋滞はなし

5/1 益城町総合体育館⇒益城熊本空港IC⇒福岡IC⇒八木山バイパス
⇒飯塚薬剤師会（約2時間30分）

※渋滞なし

【活動内容】 ○4/30

7:30 飯塚薬剤師会集合出発

11:00 熊本県薬剤師会到着

派遣先及び注意事項の説明

12:00 益城町総合体育館到着

前日派遣者より業務の引き継ぎ

12:30 業務開始

- ・日本赤十字災害派遣テント内で調剤業務

日中の患者さんは少ないが夕食後及び風呂上りから増えてくる18:00～21:00まで多い（処方箋枚数約90枚）

- ・次亜塩素酸Na消毒薬0.1%散布

前日からの引き継ぎで新しい提案事項として本日から開始する。館内出入口の床に大きめのタオルを設置しその上に

次亜塩素酸 Na 消毒薬を霧吹きでタオルに散布し、靴底を消毒する。館内が濡れる可能性があるため、乾いたタオルも設置し濡れた靴を拭き取る。中庭付近（日赤医療テント側）の出入口に設置。

トイレで靴が汚れる可能性があり、そのまま館内に入ると汚染の原因になるため、出入口で消毒する。

13:00 から2時間ごとに散布（乾くのが早い）。

22:00 最終散布。

次亜塩素酸は臭いが強いので注意し、避難所の人にも注意が必要（出入口付近の人）。

22:00 業務終了、就寝。医療テント診察終了。

○5/1

7:00 起床

8:50 館内放送

熱中症予防、エコノミークラス症候群予防、健康相談（OS-1 配布）等の呼びかけ

9:00 業務開始（医療テント診察開始）

・競技場内のテント宿泊者への熱中症予防の呼びかけ

各テントを周り熱中症の予防と体調管理の相談

日中はかなり暑くなるため、熱中症がでる可能性があり、エコノミークラス症候群同様に熱中症予防にも力を入れていく。

・次亜塩素酸 Na 消毒薬 0.1% 散布（仮設トイレの出入口付近に設置）

前日同様2時間毎に散布する。初回8:00

11:00 散布箇所を1箇所増設（駐車場側事務所付近出入口）。

設置、作業内容は前日と同じ。

13:00 業務引き継ぎ 熊本県薬、山口県薬、福岡市薬

13:30 業務終了 益城町総合体育館出発

帰りは熊本県薬には寄らず、直帰。

16:00 飯塚薬剤師会到着

【派遣日程】 4月30日（土）～5月1日（日）

【報告者】 福岡県 寺本 美香

【メンバー】 赤沢 史明, 赤沢 詠子, 井上 正太, 寺本 美香

【派遣先】 ホテル エミナール及び河原小学校

- 【交通状況】 往復、小倉駅ー熊本駅まで直通新幹線。所要時間片道1時間。
熊本駅から熊本県薬まで往復タクシー。所要時間20分程度。
- 【ライフライン】 ガスはわからないが電気と水道は大丈夫。
- 【活動内容】 ○4月30日
小倉から移動中に派遣先が益城体育館から西原村方面のホテルエミナールに変更の知らせが入る。
飲食物を調達して熊本県薬集合。
早めに到着し現地での説明を受け12時に熊本県薬出発。
12:45 エミナール着。
エミナールを本部として4か所の避難所を巡回している。
4名を本部2名、外回り2名に分け活動。
外周りを井上、寺本で受け、河原小学校に避難している300名の対応にあたる。
引き継ぎを受け河原小へ行く。所要時間20分程度。
看護師が24時間救護所に待機しているので連携して避難者への声かけと状態に合わせてOTCを渡す。ただ避難者は昼は仕事や家の片付けに出ているので50名程度しかいない。
～15:30 救護所のOTC等の整理をしてエミナールへ戻る。
避難者にインスリン使用者がいるため血糖測定器がほしいとの要望があったので折り返し河原小へ行き届ける。
その後エミナールへ大量のOTCが届いていたので整理し在庫表などを作成する。
宮崎チームと4時間交代で仮眠。診察用の簡易ベッド有り。
- 5月1日
9:00～ 西原村役場で全体ミーティングに参加。血糖測定器が河原小にあることをお知らせする。
10:00～11:30 河原小の保健室で日赤チームの診察。
災害処方箋による調剤をし、在庫のない薬は日赤の門前薬局に院外処方対応。
13:00に次の福岡チームと交代のため、本日不足分は引き継いで次の福岡チームにお願いする。
近隣の病院やクリニックも少ないが開業している状態なので、なるべく動ける人たちはそちらに行って頂くように促していた。

【派遣日程】 4月30日（土）～5月1日（日）

- 【報告者】 福岡県 坂口 尚登
- 【メンバー】 松島 圭子, 徳永 由貴, 成澤 志鎮, 坂口 尚登
- 【派遣先】 益城総合体育館
- 【交通状況】 西鉄久留米駅近くのニッポンレンタカー西鉄久留米営業所を出発。
今回から試験的に熊本県薬剤師会に寄らないことになり、また前日九州自動車道が全線開通したため、久留米インターから九州自動車道を利用し、益城熊本空港インターで降りて直接派遣先の益城総合体育館へ行った。熊本インターを過ぎ、一車線になるあたりから渋滞。その後益城熊本空港インターを降りて、益城総合体育館まで約2.5kmあるが体育館に近い約2kmはひどい渋滞だった。
- 【ライフライン】 電気あり、ガス、水道なし
館内はほぼ飽和状態。
駐車場も場所の確保がされているため新たな駐車スペースを確保するのは大変な状態。
- 【活動内容】 OTCのブースを担当。環境測定(CO₂など)も行った。
OTCコーナーでは薬を求めに来られた方にインタビューをして薬を選定したり、受診勧奨したり、救護所へ連れて行ったりした。
また、館内にいる方に薬や健康面で気になっていることはないか尋ねて回ったり、駐車場で車中泊やテントで生活している方へ、エコノミークラス症候群や熱中症の予防の声掛けを行った。
OTCのコーナーは体育館正面玄関入ってすぐにあるため、薬以外の問い合わせの対応もあった。他の職種(保健師、ボランティアなど)からの話と一緒に問題を抱えた被災者へ対応することもあった。

-
- 【派遣日程】 4月30日(土)～5月1日(日)
- 【報告者】 福岡県 宮谷 英記
- 【メンバー】 吉田 理, 三澤 智征, 濱野 和江, 宮谷 英記
- 【派遣先】 益城総合体育館, 日赤病院
- 【活動内容】 ○4/30
医師の指示による調剤・投薬を行った。(受診91名)
- ・ノボラピット注→針の確認(1箱手持ちあり)
 - ・トランサミン, ムコダイン, PL, SP トローチ等の風邪処方→OS-1やマスクの配布
 - ・ロキソニン, モーラステープ等の疼痛処方

- ・アムロジン，ラシックス→半錠分包
- ・レボフロキサシン→1日1回しかトイレに行っていない。腹痛あり。
- ・ガラス等で足をケガされた方処置 松葉杖→日赤病院へ取りに行かれた。
→再度受診されレボフロキサシン処方

○5/1

受け付け番号配布，お薬手帳の有無の確認（受診70名，処方50枚以上）

OS-1 配布

医師の指示による調剤・投薬

- ・眼科医によるヒアレイン，カリーユニ，フルメトロン等処方
- ・シングレア，フェキソフェナジン等のアレルギー処方
- ・ヒルドイドソフト，マイザー軟膏，ゲンタシン軟膏等の処方

【派遣日程】 5月1日（日）～5月2日（月）

【報告者】 福岡県 秋吉 尚雄

【メンバー】 白石 史遠，秋吉 尚雄

【派遣先】 エミナース

【交通状況】 折尾駅～熊本駅：JR(博多までは特急・博多から熊本駅は新幹線)
2時間

熊本駅～熊本県薬：タクシー10分

熊本県薬～エミナース：レンタカー40分

【ライフライン】 電気：◎ ガス：◎ 水道：◎ スペース：▲

【活動内容】 13時～13時40分：現地へ移動

13時40分～14時：業務内容の申し送り

14時～：調剤業務・OTC対応・在庫確認・発注

16時：赤十字DMAT診察終了

16時～16時30分：避難所トイレ消毒薬・衛生状態の見回りチェック

19時～19時45分：派遣薬剤師ミーティング

22時～4時：休憩（休憩中は他の災害派遣薬剤師が交代でOTC対応）

6時～7時：避難所在庫医療用医薬品・OTCリスト更新発行

7時～7時30分：避難所トイレ消毒薬・衛生状態の見回りチェック

10時～：赤十字DMAT診察開始

12時～12時30分：岩手県からの派遣薬剤師に申し送り

13時～13時40分：熊本県薬剤師会へ移動・業務終了

*近隣の診療所がGW以降から開くようなので、連休明けから徐々に

掛かりつけに戻ってもらうようにするとのこと。又、対応時掛かりつけでないに対応が難しいような症例に関しては報告をすることになっていた。

*OTC に関しては、がれき撤去作業による怪我で消毒をおこなってからの抗菌薬軟膏塗布＋バンドエイド貼付が比較的多かった。又、日中の気温上昇が激しいため高齢者やPL 等が処方された患者は脱水症状を未然に防ぐために OS-1 を配布した。

*避難所にインスリンを使用している患者がいるが、アルコール棉が殆どなかったため（県薬にもあまりない）、在庫の確保が必要と考えられる。